

旭 養 C S だ よ り

(コミュニティ・スクール)

令和5年6月23日(金)

第1号



◇コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは

- ・コミュニティ・スクールは、直訳すると地域の学校となります。その名の通り、学校と保護者、地域が目標やビジョンを共有して連携・協働していく仕組みのことです。
- ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域が適切に役割分担をすることで、子どもたちの健やかな成長と質の高い学校教育の実現を目指す取組です。

☆旭川養護学校におけるコミュニティ・スクールの取組

- ・旭川養護学校の幼児児童生徒たちの学習環境や学習機会を充実させるための取組
例)・人材や地域の資源を活用 ・体験や経験の拡大 ・コミュニケーションの拡大 ・地域貢献の機会など
- ・地域にとっても、本校が教育資源、社会資源として活用できることを知っていただくための取組
例)・特別支援教育のセンター的役割(教育相談、研修の講師)・地域貢献など

旭川養護学校では、令和4年度からコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を本格的に開始しました。昨年度は、コロナ禍の中でしたが、学校運営協議会を3回(6月・12月・3月)実施しました。様々な職種や立場の方々が委員となり、本校の教育のために様々な提案やアイデアを出してくださっています。毎回、充実した協議が行われています。

【学校運営協議会の様子】



本号では、令和4年度の学校運営協議会の様子や委員の皆様からいただいたアイデアや提案をもとに実施した具体的な取組などを紹介していきます。

【春光台公園を楽しもう】(8/21)



車いす体験コーナーや教材・教具の展示や体験ブースを新設。リピーターも多く大盛況でした。

【春光台公民館文化祭】(10/1・2)

本校の展示コーナーを新設。地域の多くの皆様に学習内容を知っていただく契機になりました。





【春光台夢あかり】(2/5)



今年から旭川養護学校のアイスクャンドルも参加。出展したアイスクャンドルは、中学部の理科の授業で学校運営協議会の五十嵐委員のアドバイスを受けながら制作しました。

【講演会(PTA 主催)】(2/17)

参観日に五十嵐委員による講演会を行いました。社会参加を促す地域支援の在り方について、これまでの経験や現在の取組についてお話しいただきました。



【高等部「総合的な探究の時間」】(R5/6/8)



学校運営協議会の秋元委員らを招待し、高等部2学年の生徒が音楽や職業・家庭などの授業についてプレゼンし、一緒に体験しました。

【ユニバーサル野球体験会】(R5/6/20)

リアル野球盤でのゲームを体験しました。動くボールにタイミングを合わせて、バットにつないだひもを引き、スイング! 声援や歓声は、まさにボールパーク。五十嵐委員たちの協力もいただき、とても盛り上がりました。



子どもたちにとって魅力のある授業づくりのために、今年度も保護者・地域のみなさまと共にコミュニティ・スクールを推進します。



くるるま

学校キャラクター「くるるま」